

# 1 あかしSDGs推進審議会委員への書面での意見聴取

## (1) 開催概要

①実施時期	<b>【第1回】</b> 2020年9月29日(火)～10月16日(金) <b>【第2回】</b> 2020年11月2日(月)～11月18日(水)
②聴取内容	<b>【第1回】</b> ・(仮称)あかしSDGs推進計画(骨子案) <b>【第2回】</b> ・(仮称)あかしSDGs推進計画(骨子案) ・(仮称)あかしSDGs前期戦略計画(構成案) など

## (2) 主な意見

### ① (仮称)あかしSDGs推進計画骨子案

#### <2030年のあるべき姿(目指す10年後のまちの姿)について>

- ・象徴的な目標として、「住みやすいと思う人の割合100%」を掲げたことは、大変明確であり、意味がある。
- ・象徴的な目標として「住みやすいと思う人の割合100%」を掲げているが、努力目標として掲げているのであれば問題ないが、2030年に数値を評価するのであれば、達成可能な目標が望ましい。
- ・「住みやすいと思う人の割合」と合わせて、「住み続けたいと思う人の割合」についても目標にしてはどうか。
- ・「持続可能」が前提条件のように書かれていることに違和感がある。「SDGs未来安心都市・明石」に不可欠なのは、市民の「持続可能」に対する理解を深めることではないか。

#### <まちづくりの方向性>

- ・SDGsの目標はすべて、環境面、社会面、経済面と深くつながっており、この三側面をどのように工夫していくのが大切である。具体的な施策の実施に当たっても、三側面が独立することなく、バランスを保てるように検討すべきである。
- ・三側面のまちづくりの方向性に市民の位置付けをはっきりすべきである。
- ・防災に対する取り組みも進めてほしい。(環境)
- ・明石の環境面の現状に「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」の両方に配慮した表現とすることが、「人にも自然にも地球にもやさしいまち」につながる。(環境)
- ・「健康」や「教育」といった具体的な用語を絡めた目標も必要ではないか。(社会)
- ・「こどもを核としたまちづくり」に力を入れたまちづくりを推進しているのは分かるが、高齢者や障害のある人への手立て・取組も必要ではないか。(社会)
- ・近所ではあいさつをしても返してこない人が多い。「すべての人が助け合い」をどのように達成するのか、具体的な取組を考えていきたい。(社会)
- ・新型コロナ後の社会の中で、地域密着型のライフスタイルの創造、デジタルインフラについても記載してはどうか。(経済)
- ・「定住人口」と「交流人口」の拡大についても記載してはどうか。(経済)

## <その他>

- ・SDGsは人材の育成が最も大事だと思う。
- ・「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」の考え方を、ハード・ソフト両面でつり合いの取れた取組を実施することが大切である。
- ・他県に住むことになろうとも、最後は“帰ってきたい”と思えるまちにしていくべきである。
- ・明石の海が今どういった現状で、今後どうしていきたいのか、市民にあまり浸透していないように思う。
- ・子ども世代にくらべ、高校から大学生への支援が少ないように感じる。
- ・障害者に対する合理的配慮の趣旨やノーマライゼーションの考え方をもっと普及・啓発してほしい。
- ・市全体のまちづくりと校区のまちづくりを共に発展させていくことが大切である。
- ・個人の衣食住の質・デザイン性が向上しているなか、美しい街並みの実現が必要ではないか。
- ・明石市に安心して住むということは、雇用に安心できることである。安定な雇用だけでなく、柔軟な働き方や意義のある仕事を見つけられることが大事である。
- ・子ども達が成長して、転出しないように地場産業の育成が必要である。

## ②（仮称）あかしSDGs前期戦略計画構成案

- ・5つの施策を中心に進めていくことは良いと考える。5つ以上に柱を設定すると焦点がわかりにくくなる。
- ・5つの施策展開の柱が、「環境・社会・経済の三側面」に対して、どのように関わっているのかを示すとつながりと根拠が理解しやすい。
- ・三側面に施策や数値目標を位置付けたほうが、分かりやすいのではないか。
- ・数値化できない、できにくい目標について、どのように設定していくのか考える必要がある。
- ・前期戦略計画は、推進計画の方針を受けて、これを実現させるための方向性や重点的な取組をまとめたもので、個別計画とのつながりになるものとする。個別計画を策定する関係部署との十分な意見交換が必要である。
- ・温室効果ガス排出量をゼロに近づけるための取組や数値目標を掲げていくべきである。
- ・SDGs未来都市に選定された市として、他市の手本となるようなものにすべきである。